

実践のまとめ（第2学年 社会科）

令和6年11月21日（木）

加茂市立加茂中学校

教諭 山本 晴久

1 研究テーマ

課題に対して主体的に取り組み、よりよい社会の実現に向けて社会に参画する意識を育てる

2 研究テーマについて

(1) テーマ設定の意図

中学校学習指導要領（平成29年度告示）社会編〔歴史的分野〕の目標では、柱書で「社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動をとおして、広い視野に立ち、グローバル化に対する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する」とされ、（2）で、「歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それを基に議論したりする力を養う」と述べられている。この目標を実現するためには、社会的事象を生徒が自分事と捉え、課題を主体的に追究したり、解決したりする活動が必要である。しかし、これまでの私の授業を振り返ると、興味・関心を高め、一定の知識・理解を定着させることはできていたものの、その学習内容が自分とはかけ離れたもの、自分とは関係ない他人事として捉えている生徒が多くいたのではないかと感じている。

そこで身近な地域教材を活用し、生徒にとって学びたい学習課題を設定することで、社会的事象を「自分事」として捉え、主体的に追究したり、解決したりしようとする生徒を育成したいと考え、本テーマを設定した。

(2) 研究テーマに迫るために

① 身近な地域教材の活用

身近な地域教材として、新潟県に関する教材を取り上げることで、より切実な問題意識をもって課題解決に取り組むことができるようにする。

② ワークシートの工夫

生徒が課題を解決していく際に、社会的な見方・考え方を明確に示すことや、考えを広げたり、深めたりできるようにするためのワークシートの工夫。

③ ICTの効果的な活用

単元を貫く課題を解決するための毎時間の気づきや学びをアプリ（canva）のホワイトボードに入力し、お互いの考えを共有できるようにする。

(3) 研究テーマに関わる評価

- ・ パフォーマンス課題に対して、学習で学んだことを生かし、根拠をもって表現できている生徒の割合から評価を行う。

3 単元と指導計画

(1) 単元名

歴史的分野「開国と幕府政治の終わり」（『未来をひらく 歴史』教育出版）

(2) 単元の目標

- ・ 社会の変動や欧米諸国の接近に対する江戸幕府の対応・政治改革についてとらえ、幕府政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解する。
- ・ 幕末の開国と、その政治的・社会的な影響について、欧米諸国のアジア進出との関わりから理解する。

(3) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
開国とその影響などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べまとめ、開国によって人々の生活が大きく変化したことを理解している。	幕府が対外政策を転換して開国したことなどに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、開国が政治や人々の生活に与えた影響について多面的・多角的に考察し、表現している。	欧米諸国のアジア進出が日本の開国をもたらしたことや、開国の影響と江戸幕府の滅亡について、よりよい社会の実現を視野に主体的に追求しようとしている。

(4) 単元の指導計画と評価計画（全7時間、本時7／7時間）

次 (時数)	学習内容	学習活動	主な評価規準と方法 ・ 身近な地域教材
単元を貫く課題：江戸幕府が滅んだ理由は何だろう？ →パフォーマンス課題「江戸幕府の滅亡の理由から学ぶ、 みんなが暮らしやすい加茂市にするためのヒント」			
1 (1)	【第1時】 ・ 課題に対する予想を立てる。 ・ 予想を全体で共有する。	◎単元を貫く課題に対する自分の考えをまとめよう。	主体的に学習に取り組む態度 なぜ江戸幕府が滅んだのかを予想し、今後の学習に見通しをもっている。 【ワークシートの記述、観察】

2 (1)	【第2時】 ・諸藩の改革と幕府の改革の特徴を比較し、改革に成功した藩と、失敗した幕府の違いについて考える。 【第3時】 ・阿部正弘や牧野忠雅の立場に立って、幕府としてどのような立場をとるのがよいかを考える。 【第4時】 ・ペリー来航による影響について、百姓、大名、町人などの異なる立場から考えることを通して、開国による日本の社会の変化を考える。 【第5時】 ・明治維新の動きが生まれた背景と幕府との戦いについて、資料をもとに考える。	◎幕末の状況でどのような政策が求められたのだろうか。 ◎開国をすべきかどうか。 ◎開国の結果、日本にどのような影響があったのか。 ◎長州藩と薩摩藩が倒幕で協力できたのはなぜか。	思考・判断・表現 諸藩の改革と幕府の改革の特徴を比較し、まとめている。 【ワークシートの記述】 ・長岡藩の財政立て直し 思考・判断・表現 開国をすべきかどうかについて、根拠をもって自分の考えを表現している。 ・新潟湊に来る外国船 思考・判断・表現 様々な視点から開国の影響を捉え、日本の社会の変化をまとめている。 【ワークシートの記述】 ・加茂町騒動とチョボクレ ・慶應2年の米価高騰と不穏な世情 思考・判断・表現 明治維新の動きが生まれた背景と幕府との戦いについて、資料をもとに考え、まとめている。 【ワークシートの記述】 ・加茂軍議と河井継之助
3 (2)	【第6時】 ・単元を貫く学習課題に対する考えを自分の言葉でまとめる。 【第7時】 本時 ・学習したことを基にして、パフォーマンス課題に対する考えを、まとめる。	◎江戸幕府が減った理由は何だろう。 ◎「江戸幕府の滅亡の理由から学ぶ～みんなが暮らしやすい加茂にするための政治のヒント～」	思考・判断・表現 単元を貫く課題やパフォーマンス課題に対して、学習したことを踏まえ、他者と対話をしながら考えを比較し、関連付け、表現している。 【ワークシートの記述】

4 単元と生徒

(1) 単元について

本単元では、貨幣経済の農村への広がりや自然災害などによる都市や農村の変化によって様々な対応を迫られてきた幕府が、欧米諸国のアジア進出に伴い、対外政策の転換を図り、開国を行ったことで、政治的、社会的な混乱を招き、諸藩が明治維新の動きを生み出していく様子を学習する。学習を進める上で、諸藩と幕府の改革の比較や開国をすべきかどうか、開国の前後など、社会の変化を比較して捉える場面が多い。比較という方法を中心に学習を進めながら、江戸幕府の滅亡の理由を考えさせたい。

(2) 生徒の実態

落ち着いて学習に取り組むことができている。しかし、課題に対して、自分から意欲的に考えるというよりは、取り組まなければならないことだから考える、という意識の生徒が多い。

また、今年度実施したアンケートの結果は表1の通りであり、歴史の学習をすることに意味を見出すことができず、受験のためと回答する生徒も多くいた。そこで、江戸幕府の滅亡の理由から社会（加茂市）をよりよくするために、私たちに学べることはないかを考えることを通して、目的意識をもって主体的に学習に取り組む姿を期待する。

表1 アンケートの結果（実施日：2024年10月 n=20）

1 歴史の学習は好きですか。			
とてもそう思う 3人（15%）	そう思う 4人（20%）	あまりそう思わない 3人（15%）	そう思わない 10人（50%）
〈肯定的な意見〉 ・内容が面白いと思ったから。 ・過去に起こった出来事や現在に関わりのあるものについて興味があるから。 ・覚えやすくて楽しいから。 〈否定的な意見〉 ・流れが難しいから。 ・過去のことを学ぶ必要がないと思っているから。 ・どうしてもわざわざ昔のことを勉強しなければならないのか分からないから。 ・歴史を知っても楽しくないし、将来に役に立たないから。			
2 よりよい社会をつくるためには、歴史を学ぶことが必要であると思いますか。			
とても思う 1人（5%）	少し思う 10人（50%）	あまりそう思わない 4人（20%）	そう思わない5人 （25%）
〈肯定的な意見〉 ・過去の過ちを繰り返さないため。 ・昔の失敗などを反省したりするため。 ・歴史を学ぶことで戦争をしない大切さなど、昔の人の知恵を学ぶと良いと思ったから。 ・昔のことを参考にすることが重要なときがあるかもしれないから。 ・昔のことを知ることで、今の時代のいろいろなことの解決策が見つかると思ったから。 ※「歴史を学ぶことに、どのような意味があると思いますか」に対する、あまりそう思わない・そう思わないを選んだ人の意見 ・分からない。 ・受験のため。			

5 本時の展開（令和6年11月21日実施）

(1) ねらい

パフォーマンス課題について、学習したことを踏まえ、他者と対話をしながら自己と他者の考えを比較し関連付け、自分の考えをまとめて発表することを通して、よりよい社会を実現するためには何が必要かを理解し、表現する。

(2) 展開の構想

パフォーマンス課題について、既習事項を踏まえ、対話をしながら自己と他者の考えを比較や関連付けて、自分の考えをまとめる場を設定する。その際、自分の思考を可視化しながら整理し、根拠をもって発表しやすくするためのワークシートを活用する。

(3) 展開

時間 (分)	学習活動	T：教師の働きかけ S：予想される生徒の反応	□評価 ○支援 ◇留意点
導入 (5分)	○「単元を貫く課題」と「パフォーマンス課題」について確認する。	T：今日は、江戸幕府の滅亡の理由について学んだことを生かして、加茂（社会）をよりよくするためのヒントを考える時間とします。 今日の授業の流れは、 ①パフォーマンス課題について、自分の考えをまとめる。 ②班で自分の考えを発表する。 ③班で考えをまとめる。 ④班の考えを全体に発表する。 ⑤再び、パフォーマンス課題に対して自分の考えをまとめる。	○生徒が本時の見通しをもてるよう、流れを説明する。 ◇『生徒指導の実践上の視点』を踏まえ、他者の意見を尊重しながら、自分の意見を尊重することで、共感的な人間関係の育成を図る。
展開① (15分)	○「パフォーマンス課題」に対する自分の考えをまとめる。	◎江戸幕府の滅亡の理由から、みんなが暮らしやすい加茂（社会）にするためのヒント！ S：～で失敗していたから、～をすることって大切だね。	○机間巡視をして、とまどっている生徒がいたら、考える視点を与える。 ○CANVA上にある、これまでの学びを参考にさせる。 ◇令和6年度の加茂市の施政方針に触れる。
展開③ (10分)	○「パフォーマンス課題」に対する自分のなりの考えを発表する。 ○班ごとにホワイトボードに考えをまとめる。	T：それでは時間になったので、自分の考えを班で発表してもらいます。班長から時計回りに発表してもらいます。 T：それでは、各班で発表したことをホワイトボードにまとめてください。そして、その中でも、これが一番大事だ！と思う考えを全員で話し合ってください。	◇「政治をする側」と「市民の立場」の2つの立場でまとめる。 ◇まとめが途中でできたとこまでで発表させる。 ◇赤ラインを引いた理由はホワイトボードに書かない。

展開④ (7分)	○各班の意見を 発表する。	決まったら、その意見に赤ラインを 引いてください。 T：それでは、各班ごとにまとめた意見 を発表してください。 最後に各班で一番に選んだ理由を 発表してください。	◇時間がなければ、各班で 「一番大事」だと思った こととその理由を中心に 発表してもらおう。
まとめ・振 り返り (13分)	○パフォーマンス課 題について、自分 の考えをまとめ る。 ○授業の振り返りを する。	T：それでは、他の人からの意見も 踏まえて、もう一度考えてみよう。 T：本時の振り返りをしよう。	思考・判断・表現 パフォーマンス課題につい て、学習したことを踏ま え、よりよい社会の実現に 必要なことを根拠をもつ て、表現している。 【ワークシートの記述】

(4) 評価

パフォーマンス課題について、学習したことを踏まえ、よりよい社会の実現に必要なことを根拠をもって表現している。（思考・判断・表現）

A（十分に満足できる）	B（おおむね満足できる）	C（努力を要する）
パフォーマンス課題に対して、 みんなが暮らしやすい加茂にする ためには、「政治をする側」が人々 の支持を得ることが必要であるこ とと「市民側」が動くことが大切 であることに気づき、学習に学ん だことを生かし、根拠をもって、 表現できる。	パフォーマンス課題に対して、 学習で学んだことを生かして、 根拠をもって表現できる。	Bに満たない。 ・自分の考えを書くことができ ない。 ・自分の考えを書くことはでき ているが、単元の学びから得た ことを根拠にしていない。

6 実践を振り返って

(1) 授業の実際

生徒のアンケートから、歴史の学習を好まない生徒が多いことや歴史を学ぶことがよりよい社会をつくることにつながると考える生徒が少ないことを踏まえ、1時間目に、単元を貫く課題とパフォーマンス課題を設定した。以下は、パフォーマンス課題と、単元を貫く課題に対する予想のまとめである。

あなたは歴史の学習をしているK中学校の2年生です。
最近、江戸時代後期までを学び、定期テストを受けたばかりです。
昨日、テストが返却されて、友人と歴史の学習について、話している意見が分かれました。

あなた「歴史って面白いよね。」
友人「うーん、確かに面白いと思う時もあるけどさ、歴史の流れを理解するのが難しいし、日本だけでなく、他の国もたくさん出てくるでしょ。覚えるのが大変で好きじゃないよ。」
あなた「確かにね。覚えることはたくさんあるよね。でも、過去に起こった出来事やそのことが現在にどう関わりがあるかを知ることって、とっても大切だと思うな。昔のことを知ることで、今の時代のいろいろなことの解決策がきっと見つかると思うんだ。」
友人「そうかな。過去のことを知ったって将来役に立たないし、学ぶ必要なんてないと思うけどな。結局受験のためでしょ。」
あなた「そんなことないって！」
友人「そんなに言うならさ、どう役に立つかレポートをつくって教えてよ。」
あなた「わかった。」

あなたは、これから学習する単元で学んだことから、私たちがよりよい社会をつくるために、どのようなことが学べるかをレポートにまとめて説明することになりました。

【パフォーマンス課題】
「江戸幕府の滅亡の理由」から学び、みんながぐらしやすい加茂にするためのヒント

Canva上にまとめた、生徒の単元を貫く課題に対する予想

幕府の滅亡

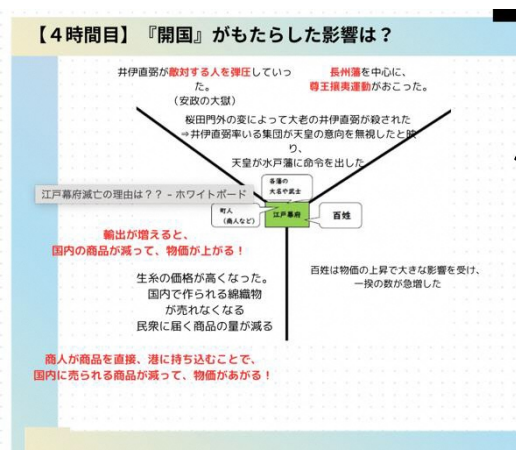
財政が厳しい
【政治】民衆を支配し続けるのが困難
人々をまとめることができない
政治がうまくいかない
外国との関係
日本がめちゃくちゃになって日本が壊れた

武力だけでは治めることができない
武士だけの政治では維持できなくなった
各藩が力をつけていった一方、將軍の力が弱まった
政治に不満をもつ人々の増加
中心的人物が死んだ
幕府ではなく天皇中心にすべき
飽きた

1時間目のみんなの予想

「幕府の財政の悪化」や「日本を取り巻く国際状況の変化」、「外国の革命の影響が日本にあった」などと、既習事項から予想を立てることが出来た生徒が多くいた。

2～5時間目では、「幕府が滅亡した理由」について、身近な教材である長岡藩の資料も提示し、改革に成功した藩と失敗した幕府の比較や開国による影響の資料を読み取り、多面的・多角的に考察し、思考ツールを使って班ごとにまとめた。また、それぞれの授業のまとめの段階で、単元を貫く課題に対する生徒の考えを記述させるようにした。生徒からは、「江戸幕府は農業中心で財政を立て直そうとしているけど、雄藩などは商業中心で軍勢力を強化している。（2時間目）」や「アメリカに攘夷をしても勝てないから外交政策を変えた。朝廷や諸藩の意見を聞いたことで、幕府の権威が下がったと思う。（3時間目）」、「貿易を始めたことで、物価が上昇し、人々の不満が高まって一揆が多発した。（4時間目）」など、それぞれの授業での資料を根拠に記述する生徒が多く見られた。



班ごとに1人ずつが、「各藩の大名や武士」、「町人」、「百姓」の資料を分担して、読み取り、Yチャートにまとめた。

6時間目では、単元を貫く課題のまとめを行った。幕府が滅びた理由につながる社会的事象を付箋に書き、関連する事柄を組み合わせ、課題に対する考えをまとめた。他の人の意見を参考にするこ

とで、自分では気づけなかった視点から、考えをまとめる生徒もいた。しかし、考えをまとめる時間を十分に取ることができなかつたため、人によって内容の深まりに大きく差が出てしまった。

「江戸幕府の滅亡の理由」から学ぶ～みんなが暮らしやすい加茂にするためのヒント～

★江戸幕府が滅んだ理由を、今までの学習したことを基にまとめよう。 ※canvaにある学習の積み重ねも参考にしてください。

私が考える幕府が滅亡した理由は、

ペリーが来航したこと、日米和親条約や日米修好通商条約などの不平等条約の結果にことにより、幕府への反感や経済の混乱。物価上昇により市民の生活が苦しくなり、一揆が起きた。雄藩の発言を高め、幕府の立場が下がり、幕府の滅亡につながった。

不平等条約を結んだことによる幕府への反感や経済の混乱

日米和親条約
日米修好通商条約

開国

ペリー

黒船

雄藩が藩政改革に成功し、軍事的近代化をほかり、発言を高めた。

雄藩の成長

雄藩が不平等条約を批判し、幕府を対立し、攘夷論を唱え、倒幕を目指し、薩長同盟を結んだ。

安政の下獄

尊王攘夷運動

物価上昇で市民の生活が苦しくなり、一揆が起きた。

物価上昇

外国への輸出

【生徒 A】自分の考えを書くことに対して消極的で、1時間目の予想の段階では、「飽きたから」と記述したが、「政治」や「経済」、「外国との関係」などの視点からまとめることができた。

7時間目では、各自が書いた上のワークシートをもとに、パフォーマンス課題について、個人から班、全体、そして個人という流れで考えをまとめた。この単元の学びを根拠にして、今の社会（加茂）につなげて考えさせようとしたが、思考が深まらなかった生徒が多くいた。また、そうした状況での授業者の働きかけが不十分で、考えが深まらなかった班があったのが課題である。

(2) 研究テーマに関わる評価

約90%の生徒（18/21人）がパフォーマンス課題に対して、学習で学んだことを生かし、根拠をもって自分なりに表現することができた。これは、手立てである思考が可視化できるワークシートの使用や、タブレットのアプリ上から学習の積み重ねを確認したり、他者の考えを知ることができたりすることが有効的だったと考えられる。また、そのうち、約30%の生徒（6/18人）が「政治をする側」と「市民の立場」から考えをまとめることができた。生徒Bは、個人で考えた時は手が止まっていたが、班での交流や他の班の考えを参考にしながら、自分の考えをまとめることができた。

【生徒 B】江戸幕府滅亡の大きな要因である黒船来航に対して、阿部正弘は、広く様々な人に意見を聞いたが、井伊直弼は反対派を弾圧した。その結果、井伊直弼は暗殺された。阿部正弘も上手くはいかなかったが、様々な人の意見を聞いて政治をすることは、今の加茂にもつながると思いました。

【生徒 B の続き】開国による経済の混乱で、物価が上昇するなどの悪影響を政治をする側が治めることができないと、民衆の不満も高まると思います。市民の意見を聞くことで、市の政治が上手く行えると考えました。

また、民衆は幕府に支配されていたけれど、百姓一揆やええじゃないかなど、自分たちの要求をすることで、大きな影響を与えることができたと思うので、自分たちが何かしらの行動をすることが大切だと思いました。例えば、市民としての意見を示すために、投票などに積極的に参加することができると思います。政治家と市民がそれぞれの立場でこのような行動をすることで、みんなが暮らしやすい加茂になると思います。

(3) 成果と課題

① 成果

自分の考えを表現することに対して消極的な生徒も、個人と学級の学びの蓄積を共有していくことで、他者の考えを参考に自分の考えを表現することができた。欠席生徒が多い学級であったが、ICTを活用していつでも授業の内容を確認できることは、学びの保障という観点からも、とても大事なことだと実感した。また、「江戸幕府の滅亡」の学習から「政権を維持するために必要なこと」や「市民としてできること」を考えたことは、主権者教育につながる重要な視点だったと思う。また、1時間目に立てた生徒の予想を、2時間目以降に検証していく流れであったので、どんな視点で学んでいくかを見通しをもって取り組むことができた。身近な地域の資料を使うことで、江戸などの大都市での世の中の動きが加茂にも影響があったことを生徒も実感できた。

② 課題

今回は、教師側からのパフォーマンス課題の提示だったので、課題に対する意欲の差が大きかった。資料に触れた中で、生徒のつぶやきや記述内容から、生徒が意欲的に考えたいと思う課題を設定をする必要があると感じた。また、身近な地域である加茂市をパフォーマンス課題に関連づけようとしたために、江戸幕府の滅亡と現代の私たちをつなげようとしたこと自体に無理があったと感じた。幕府の滅亡の理由につながる加茂市の資料もいくつか提示してあったので、それらを根拠にした中で、「あなたは明治政府の役人です。江戸幕府の滅亡の理由を調査して、明治政府がどのように政治を行えばよいか、報告しなさい。」のように、時代の流れの中から課題をつくった方が、生徒の思考の流れもスムーズだったと感じた。これからの歴史学習において、生徒たちが過去の歴史の当事者として考える授業を行い、そこから現代の私たちがどんなことを学ぶことができるのかという意識をもたせ、考えさせていきたい。また、単元を構成する上で、生徒たちが考えたいと思う課題を設定できるように、事前に生徒の思考の流れを十分に考え授業を構想していきたい。

7 参考文献

- ・『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』文部科学省（東洋館出版社）
- ・『オーセンティックな学びを入れた 中学校歴史授業&ワークシート』梶尾真弘 著（明治図書）
- ・『パフォーマンス課題を位置付けた中学校歴史の授業プラン&ワークシート』中野英水 著（明治図書）